

途中で小船に乗りルクソール西岸を訪れる。王家の谷ではラムセス3世、9世、ツタンカーメンのお墓を見学。ツタンカーメンのミイラも此処に眠っていました。先日考古学博物館で見た数々の埋蔵品が、こんなに狭いお墓に入っていたとは信じられませんでした。

数年前に襲撃事件があり多数の死者を出したハトシェプスト女王の葬祭殿に着くころにはエジプトらしい陽射しとなり、真っ青な空と葬祭殿の白とのコントラストがとても印象に残りました。



【ハトシェプスト女王の葬祭場】

エジプトに来ての最大の感動はこの後訪れた王妃の谷のネフェルタリの墓でした。ラムセス2世の最愛の妻であり、かのクレオパトラと並び賞されるほどの美人だったそうです。現在修復中で見学出来ない墓ですが、私達8人だけが10分間の制限付きで許可されたそうです。中の壁画の美しいこと！色も殆ど原色のままで残され3000年の月日を感じさせませんでした。本当にエジプトに来た甲斐がありました。



【ガラベイヤパーティーにて】

夜はロイヤルリリー号船上にてガラベイヤパーティー。それぞれが好みの民族衣装を着て参加します。私達も写真の様な衣装を身にまとい、ゲームをしたり踊りを踊ったりして楽しい一夜を過ごしました。

明るく日は馬車に乗ってエドフのホルス神殿へ。高さ36mの立派な塔門には巨大なレリーフが描かれ3000年以上もたっているとは思われません。一度船に戻り船長室を訪問。船長さんはヌビア人で民族衣装を着て胡坐をかいて操縦していました。

午後からはナイル川をアスワンから46km下った町にあるコムオンボ神殿を見学。ナイルの突き出た丘の上に立つ立派な神殿でクルーズ船からもよくみえワニの神様のために立てられたもので、ワニのミイラや、ナイルの深さを測るナイロメーター等の遺跡がありました。

又医療器具のレリーフもあり中々興味深く見学しました。

夜、船内でベリーダンスやタントーラと言って大きなスカートを履いた男性がくるくると回りながらスカートを上げたり下げたりしながら踊る珍しいショーがありました。

今日はアスワン観光。切かけのオベリスクを見て、あの巨大なオベリスクがどうやって作られたかが分かりました。その後、フィラエ島のイシス神殿に行く。アスワンハイダムが出来たとき水没する運命だったのを此処に移転されたものです。

午後からは待ちに待ったファルーカセイリング。12m位のガフリグです。ティラーは直径15cmもある丸太でこれを抱えるようにしてヌビア人が操縦します。結構上り性能が良いのには吃驚しました。一時間ばかりのんびりとナイル川のセイリングを楽しみました。夜は地元のアスワンショーを楽しむ。



【右写真:ファルーカセイリング】

ルクソールからアスワンへの4日間乗った『ロイヤルリリー号』とも今日でお別れ、アスワンハイダムを見に行く。海のようなナセル湖にびっくり！ここでサハラ砂漠の砂を拾い空港へ、アブシンベル行きの飛行機は私達と他4名だけでした。



アブシンベル神殿は日本人に最も人気のある所だそうで、多くの日本人に行き会いました。殆どの方がバスでコンボイを組んで前後を自動小銃を持った警官達に守られての移動だそうです。まだまだ治安の悪い所があるようです。

夜は神殿前で音と光のショーがありましたが、日本人が多かったせいで日本語の説明で助かりました。ショーが終わる頃にはさすが砂漠の気候ぐんと冷えてきました。昼間はTシャツでしたが長袖のトレーナーにジャンパーでも寒い位でした。

【左写真:アブシンベル神殿】

明るく日は早起きして朝日鑑賞に行く。この日のサンライズは6.32分でしたが朝日に照り映えるアブシンベル神殿はとてもおごそかでした。ここからアスワンまではわれわれだけのチャーター機に乗り換えてカイロへ。久しぶりの中華料理に大満足。その後モハメドアリモスクへ。非常に立派なモスクで少しだけイスラムについて勉強しました。

午後はハンハリ市場でショッピング、非常に活気がありあらゆる物を売っています、ここで水タバコを体験、香水瓶、アンク（命の鍵というお守り）等おみやげを買う。

今日から一泊二日のオアシスの旅です。大型バスに我々8名と添乗員、現地ガイド、ツーリストポリスが乗ってバハレイヤオアシスに向け出発です。6時間の砂漠の旅ですがトイレ休憩は一ヶ所だけだそうです。着くとオーナーのピーターさんと日本人の奥さんが出迎えてくれました。

午後からは待望の砂漠の旅サファリツアーです。私はサファリラリーをイメージしていたのでジープでなく、四駆のランクルで一寸がっかり……。でも黒砂漠、白砂漠等の景観とスケールの大きさには大満足でした。砂漠に沈む夕日を見てホテルに帰る。

夜は民族料理のバドウィンディナーでした。このホテルの売りは温泉です。露天風呂を中心に部屋が取り囲むようにアレンジされています。私一人しか入らなかったのが30分ばかり中で泳いでいました。



【白砂漠の景観】



今日はオアシス近くのミイラ博物館見学。沢山のミイラが無造作に置かれています。又上から見ると何もないような所ですが、階段をおりて行くと中に立派な壁画の残っているお墓があちこちにあります。さすが歴史の宝庫エジプトです。ホテルで昼食をとりカイロに戻ります。明日はいよいよ最後のエジプト観光です。

【左写真:砂漠の奇岩】

今日は一寸変わったピラミッドを見に行きます。まず途中で計画が変更になったため傾斜角度が変わってしまった屈折ピラミッド。元々は赤っぽい石で作られた赤のピラミッド。メンフィスでは雪花石膏で作られた10mのスフィンクス、15mもあるラムセス2世の横たわった巨像等を見学。最後はサッカーラの屈折ピラミッドを見て帰路に着きました。

今回の旅行は（熟年の旅）と言う、ゆったりとした日程でしたので、殆ど疲れる事も無く又時差ボケも経験することなく快適に過ごすことが出来ました。ただ食事だけが私達日本人には合わなくてがっかりしました。

今まで耳抜きが出来ず飛行機の旅は敬遠していましたが、今回は一度も耳が痛くならず自信が付きましたので、今後行動範囲が広がりそうです。
《セレナ 丸山 暢》



【砂漠に沈む夕日】



ミニギャラリー

現在クラブハウスではミニギャラリーとして、様々な写真家や画家の方々の作品を展示しています。2月24日から5月18日までは「瀬尾 昭夫・横江 逸美 二人展」が開催されています。油彩画・水彩画・リトグラフ(版画の一種で水と油の反発作用を利用した版種)などが展示されています。

作品の購入も可能ですので、ご希望の方はフロントまでご連絡下さい。

なお、5月中旬からは「加藤 茂外次 展」を開催予定です。



《プロフィール》

瀬尾 昭夫


愛知県立芸術大学卒業。
第14回中部国画会 新人賞。
第54回国画会 新人賞。
ギャラリー絵門、以降東京、名古屋にて個展、企画展等多数参加。
現在、国画会会員。



《プロフィール》

横江 逸美

愛知県立芸術大学大学院研修科修了。
上野の森美術館大賞展 優秀賞。
石田財団美術奨励賞 等々 受賞歴多数。
東京、名古屋にて個展、グループ展多数参加。
現在、国画会会員。

 **森岡 完介展 打ち上げ&瀬尾・横江 二人展
オープニングパーティー**

2月23日(土曜日)クラブハウスにて絵画展のパーティー第2弾が開催され、前回同様、演奏家の皆さんをお招きして演奏していただきました。

クラブハウスに灯りがともり、クラシックなバイオリンとピアノの音色が広がり、ゆるやかな時間が流れたように思います。
ご参加下さいました皆様ありがとうございました。



 **桜のシーズンです**



【青空をバックに…】

今年は寒い日が続きましたが、桜の開花は例年並みだそうです。ハーバーでも桜が咲き始めました。クラブハウス前から眺める桜は、ヨットと海をバックに白やクリーム色、ピンクといった様々な色のコントラストがとてもきれいです。また、桟橋から見上げると同じ桜でも青空がバックになりその表情を変化させます。桜の種類によって早咲きのもの遅咲きのものとありますので、もう少しの間桜のシーズンを楽しめそうです。

 **出前料理 承ります！！**

ゲストやクルー、家族が愛艇やお部屋に集まるとき、新鮮な海の幸を使ったお料理を出前いたします。下記が料理の一覧になります。また他にご希望のお料理・ご予算があれば可能な限り相談に応じますので、気軽にお問い合わせください。なお仕入等の都合上、事前(前日まで)にフロントまでご予約くださいます様、よろしく願いいたします。曜日・時間帯によってはご希望に添えない場合がございますのでご了承下さい。

《料理長 羽根 和範》

出前料理 メニュー

鯛しゃぶ(約4人前)……………4,000円	てこね寿司(約4人前)…2,000円
鯛塩釜焼(約4人前)……………4,000円	うに御飯(約4人前)…2,000円
鯛活造り(約4人前)……………3,500円	造り盛合せ(1名様)…800円より
鯛煮付け(約4人前)……………3,500円	※鯛はすべて約1kgです
鯛づくし(約2人前)……………4,000円 (造り・あら焚・塩焼き)	<u>その他ご予算に応じます</u>



五ヶ所潮干狩り

開催日：平成20年5月5日（月曜日）

料金：大人（中学生以上）1,500円／名・小人500円

今年のゴールデンウィーク中、一日だけの開催となります。

あさはり波打ち際で掘るのが一番効率の良い方法です。一つあれば、その周りには最低10個はあると思われるので根気良く、広く浅く掘ってみてください。

潮干狩りは、子供だけが楽しむものではなく、大人でも十分楽しめるものです。童心に帰って、満喫してみてください。



【五ヶ所潮干狩り】



予 約 状 況 (3月31日現在)



×：満室 △：若干の空室あり ○：空室あり ー：定休日

4月							5月							6月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4							1
	○	ー	○	○	○	○				○	△	×	△							○
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
○	○	ー	○	○	△	○	△	○	ー	○	○	△	○	○	○	ー	○	△	△	○
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
○	○	ー	○	○	△	○	△	○	ー	○	△	△	○	○	○	ー	○	○	△	○
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
○	○	ー	○	○	△	○	△	○	ー	○	○	△	○	○	○	ー	○	○	○	○
28	29	30					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
○	○	ー					△	○	ー	○	○	△		○	○	ー	○	○	△	○
														30						
														○						

編)集)後)記)

昨年はハーバーの桜も花が満開になる前に葉がつき、一面桃色には到底ならなかったのですが、今年の桜は私がハーバーに勤めだしてから(5年目になります...)一番きれいに咲いている気がします。

さて今号でもお知らせしているように先日、志賀高原スキーツアーに同行してきました。長野県へスキーで行くのは、高校の修学旅行以来でした。

早朝、志賀高原へ到着すると一面の銀世界に圧倒されました。志賀高原は大小あわせて21ものスキー場があり、そのレベルにあわせて様々なコースを楽しむことが出来ます。今回一緒に行った方々、上手すぎです。最初からついていけず、友達と超初心者コースで練習していました。なだらかなコースだけあって、修学旅行生やスキースクールの生徒がたくさんいる中、やっと滑れるようになった!..とおもったら猛吹雪。ゴーグルをかけても視界が悪く、風で雪が舞ってまるで海面を滑るような感じでした。

翌日もコンディションは最悪で、昨日から降り続いた雪でコースは埋まり、初心者コースに人気はなく、自分がどこを滑っているのかさえわからなくなりそうで、いつの間にか違うコースへ迷い込み、たった一時間で一日分の体力と気力を使い果たしてしまいました。

とはいえ、本当に楽しい旅行でした。毎年、滑れるようになってはシーズンが終っていきます。

さあ、来年はどうなることやら...

《山本 智香》



発行：ヴィーヴルオーシャンクラブ

発行責任者：事務局長 前田 倫明

編集人：前田 倫明・山本 智香

VOC志摩ヨットハーバー

三重県度会郡南伊勢町船越 3113

Tel 0599-66-0933 Fax 0599-66-0341

URL <http://www.vocshima.jp>

Email aag82500@pop02.odn.ne.jp